



# 宝寿の風

第 7 号  
発行者  
宝寿院住職  
田辺信雄  
Tel.62-5739

（い）あ（き）つ

宝寿院住職 田辺信雄

檀家のみなさまには、日頃より宝寿院ならびに宗門の護持発展のために、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、最近フランスやベルギー、トルコなどで、悲惨なテロが発生し、罪のない多くの方が犠牲になっています。

お釈迦様が説かれた仏教の十の戒律の中に、**不殺生戒**（ふせつしようかい）というものがあります。これは文字通り、命あるものをむやみに殺してはならないというものです。また、**不瞋恚戒**（ふしんいかい）という戒律もあります。これは、怒りに燃えて決して自らを見失ってはならないというものです。これらの戒律に従えば、テロ行為などは絶対に起こらないはずであり、残念でなりません。

不幸にして不慮の死をとげられた犠牲者の皆さまのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

合掌

## 大本山永平寺へ団体参拝

前号でご案内しました通り、昨年は、大本山総持寺開山螢山禪師の一番弟子で、総持寺第二代（二祖）の峨山禪師（がさんぜんじ）の六百五十回大遠忌の年にあたりました。

当院では、この勝因にちなんで、昨年十一月二十四日から二十六日までの三日間、大本山永平寺と峨山禪師ゆかりの総持寺祖院や永光寺（ようこうじ）を参拝する北陸の旅を実施しました。

総勢四十人の檀信徒の皆さまにご参加していただき、大本山参拝という一大行事を無事に勤めることができました。参加者の皆さまに、改めてお礼申し上げます。



永光寺ご住職と記念写真



### 大本山永平寺参拝団に参加して

小沼美江子

私は、半年も前から永平寺参拝を楽しみにしていましたが、北陸路に向かったのは、秋も終わりに近い十一月下旬でした。

初日と二日目は曇りでしたが、三日目はときおり激しい雨が降る中、突然びっくりするくらい大きな二重の虹が現れて、バスの中で大きな歓声がわき上がりました。

初日に訪れたのは、羽咋市の永光寺で、参拝し住職の法話をお聴きしました。歴史を感じる趣きある名刹には、心が引き締まる思いがしました。

二日目は、輪島市の総持寺祖院を参拝しました。ここで出会ったガイドのおぼちゃんの説明が分かり易く、まじめな顔でもおもしろいギャグを連発するので楽しかった。

三日目は、大本山永平寺を参拝しましたが、私の永平寺参拝は二度目で、前回は宿坊に泊まり参禅もさせていただきました。

永平寺は、大きな懐に抱かれるような、私たちの信仰の源になっていと思っています。今回の参拝団参加者が、皆楽しく無事でも帰ってこられたのも、仏様のご加護のお陰だと思っています。ご住職、役員の皆さまには、大変お世話になりました。

### 尉兼明神の神輿渡御を催行

昨年の七月二十六日(日)に、大泉祭りに参加して、尉兼明神神輿の渡御を催行しました。神輿の渡御は三回目になります。二回目までは寄木戸南地区内だけの渡御でしたので、大泉祭りでは初の渡御でした。

渡御のメンバー寄騎連の総勢約六十人は、ほとんどが素人の集団ですが、祭りで賑わうメインストリートを全く気後れすることなく「せいや」のかけ声とともに元気いっぱい担ぎ通しました

尉兼明神は、当院の開創者加富貴御前の神号です。山門興隆と皆さんの安寧を願い、今年も大泉祭りにお神輿を繰り出す予定です。

なお、寄騎連の新しい仲間、担ぎ手を募集中です。是非ご連絡下さい。お待ちしております。



### 墓地の北側に築山庭園を造成中

宝寿院墓地の北側に、檀家さんの所有する約四五〇坪の広い水田がありました。昨年この土地所有者のご理解・ご協力が得られ、寺が買い受けることができました。

これにより、墓地と一体化した寺の境内地になりました。

現在、水路を改修して埋め立て造成中ですが、ここには、花いっぱい築山庭園を造る予定です。また、築山の上に東屋も建てたいと考えています。

全面的な完成には、約二〜三年程はかかると思いますが、完成後には、墓地から築山庭園を望むことができ、また、築山からは墓地を含めた境内を一望できるものと思っています。お墓詣り等に来られた際には、是非心穏やかに、散策を楽しんでいただければ思っています。



## 摩訶不思議なおはなし 第二話

今から十年以上前、私の母が亡くなり、葬儀が済んで10日ぐらい過ぎた頃のことです。

私は、家族が皆床に就いた後、最後に寝るのが習慣になっていましたので、いつものように最後に寝室に向かう途中、無意識に生前に母が寝ていた寝室の方に目をやりました。

母が寝ていたのは、三間続きの一番北側の部屋で、私が目を向けたのは真ん中の部屋でした。母が亡くなって間もなくだったこともあり、母の部屋は豆電球を点灯したままにしています。すると、真ん中の部屋から母が寝ていた部屋へ、人影が移動するのがはっきりと見えました。怖い気持は全くなく、むしろ、まだ母はこの家にいるんだという温かい気持ちになりました。この家には温かい気持ちになりました。一段落した時に、母が私の夢の中に出てきました。

母は私に「みんなの所へ行くので、お茶菓子を持って行きたい」と言いました。私が、何がいいのかを聞いても何も答えず、夢はそこで途切れてしまいました。目が覚めて、ふと気づきました。今日が母の本当の四十九日だったと。私は仕事帰りに、生前母が好きだった甘い煎餅とかりんとうを買って仏壇にお供えました。

住職体験談

## 平成二十八年年回表

一周忌	平成二十七年
三回忌	平成二十六年
七回忌	平成二十二年
十三回忌	平成十六年
十七回忌	平成十二年
二十三回忌	平成六年
二十五回忌	平成四年
二十七回忌	平成二年
三十三回忌	昭和五十九年
三十七回忌	昭和五十五年
四十三回忌	昭和四十九年
四十七回忌	昭和四十五年
五十回忌	昭和四十二年
百回忌	大正六年

※法要の申し込みはお早めをお願いします

## 宝寿院檀徒総代

この度、三月三十一日をもって、寺の護持発展のために尽くされてきた役員の内、根岸克安様、坂本實男様、根岸政夫様の三名が退任されました。

永年にわたり、労苦をいとわず、献身的にご協力をいただきましたことに対し、心より感謝を申し上げます。

また、四月一日より、その後任として襟川栄太郎様、根岸浅雄様、峯崎平弥様の三名が新たに役員に就任されました。よろしくお願い致します。

### 新組織（敬称略）

総代長	坂本新一	
副総代長	小沼唯二	服部和悦
会計	三吉靖典	
総代	清水康司	坂本勝三
	坂本昌司	坂本陽
	峯崎寛	襟川栄太郎
	根岸浅雄	峯崎平弥